社告

時事新報各地賣捌所の中には新報代前金相切れ候より新報發送方一時差止候事間々有之候よ付自然右樣の賣捌所を經て御購讀相成居候御方の御迷惑と相成候事も可有之候へとも本社取引上の都合にて他ゑ致方も無之候間不悪御了察の上斯る場合には最寄りの賣捌所又は本社へ直接ゑ御注文被下度此段爲念購讀者諸君へ申上置候

時事新報の儀本社より直接郵送の外各地の賣捌所又は轉賣所より配達仕居候ものも有之多數配達の中には延着或は配達漏等有之哉も計りがゑるに付其節は何卒本社へ當て直接ゑ其旨御通知被下度尤も本社にても精々注意いたし居候へとも地方遠隔の場所に至ては間々行屆兼候場合も可有之依て爲念此段廣告仕候也

時事新報

無用の人を如何にすべきや

前日の紙上ゑも說きゑる如く人事不完全の社會に在りては文明の利器の作用も多數の人に靡ひせず却て一部分の專有種族に私するより不平の徒相結んで破壞主義を唱へ場ら右の種族を斃さんとするの計畫頻りなるは西洋現在の有樣なり之に反し東洋諸國は數千年來各自分裂をして互ひに桃源の春を眺め以て今日に至りしなれば彼の西洋に行はるゝ社會主義共產主義の何物たるやは殆んど夢想にも浮ばざるの狀たりしなれども現世紀の中頃より東西の通路頻りに繁く、有形貨物の貿易より遂に變じて無形の思想をも交換するに至りたれば諸々西洋流の政論と與に共に破壞主義は奥氣の如きも自然流れて東洋に入る可し之今後の勢に於て其無きを期す可らず特に文明の利器の働は直接に勤勞者の職業と剝ぐに止まらず更に間接に消費者を苦むるの事相もならば西洋傳來の破壞主義は自今東洋に東漸せるの掛念なるる可きや我輩當世れ時事を論ずる者が多年の後を憂へて爰に之を先言するは早計なるゑ似たれとも少しく限界を廣めて考ふれば數十年後の星霜も決して遠しと云ふ可らず若し萬一にも破壞主義東漸の氣遣ひあらば早く豫防の手段を運らすは今日の務めなる可し東洋の政體概して不完全とは申せとも今日まで社處に於て世に專有種族の起るを防ぎ、多數の勞力者消費者に生活れ安を得せしめたる働は少しと云ふ可らず例へば支那などにて地方の豪族莊官なる者非常に土地と占領し其權勢燦んなるが如くなれとも一方に地方官吏の壓制亂暴甚しくして豪族の威と抑へたる偶然の結果は幸に小民をして其苦みを免れしめたる者なり日本にても之に均しく舊藩々政の下に在りては豪農豪商共に藩屋を許されざるのみならず財產均一の策に於て各藩とも專有種族を斃さを以て主義としたれば小民は其庇蔭に依て偶然に幸福を蒙ひりたると少からず畢竟は政體不完全にして國民に財產私有の權なきの致さ所なりと雖も之が爲めに豪族跋扈の弊と矯めて不平黨の蜂起を防禦たる功用は東洋一種の特色なる可し抑も文明の世界は優勝劣敗の活劇場なれば貴者倍々苦んで富者彌よ〳〵贅澤に耽る等の事相あるも怪むに足らずとするも東洋古來の習慣は之ゑ反し强と制して弱を扶け豪族專門の威勢を挫て庶民の究苦を救ふと政治上一種の德風たりしが故に優勝劣敗自然の作用も充分に行はれず以て今日に至りしなれとも偖西洋との交通開けて文明の利器次第に其力を延ばすとき東洋特色の貴富平均法は同時に滅滅せられ優勝劣敗の作用獨り盛んにして强弱の差際限なきに至るは明白の事實ならんゝ

近來西洋諸國に於て生產の過溢と唱へ貨物の供給其需要に超過して空しく市場に堆積するの憂ひなるは世人の知るが如くにして其原因は樣々なるとなゝと雖も就中器械の作用、貨物は生產を容易ならしめたる者與りて力多かる可し米人の說に同國ニューイングランド地方（東岸）の靴製造器械を其力のあらん限りに運轉して六箇月間に及ぶとすれば合衆國四十州六千萬の人民が一箇年間使用す可き其靴を供給するに何ぞ餘りあるの計算なりと即ちニューイングランド地方の靴製造場ゝ充分其器械力を張の曉にい合衆國內無數の靴職人は悉く其業と奪れて即日衣食に究そるの始末なれとも幸に今日は器械力未だ充分の働と延ばす能はすして米國內幾多の靴職人も幸くして運命を繋ぐことなれとも文明の大勢に於ては優勝劣敗の作用今後倍々自在なる可けれは將來米國靴職人の成行も如何ならんかと窃に憂慮する人々あるを聞けり勿論右の事の極端を想像したる話しなれば幾年れ後ら米國靴職人の運命必ず此の如くなる者ならんと一定の斷案を下す可らざるは言を俟たざる所なれとも兎に角に器械力の作用の勞力者に福ひせざるの一事明白なりと云ふ可し經濟の法に於て供給不足して需要に伴はざるい悅ゑ可き事相に非ざれとも之に反して需要充分ならざるゑ供給のみ獨り盛んなるは尙ほ〳〵不都合と言はざる可らず前條ニユーイングランドの靴製造に就て之を言ふも充分に器械を運轉し合衆國全版圖の注文と一手に引受くる者とせば製造所の利益は實に大なるとなるなれと雖も尙ほ且つ一年に六箇月間は休業して其器械力を空に歸せしめざる可らず然るに米國今日の實際はニューイングランドの製造所外に各州到る處無數の靴職人あるより見れば ニューイングランドの器械力は半ばは愚か十分の七八乃至以上までは全くの不用に屬し僅か十中一二の力と利用するに過ぎざる者と稱して可ならん十中一二の力を運轉する今のニューイングランドの製造場にして尙且つ繁昌する者なりとせば更に之を擴張し十中の三四或は五六までに其器械を活用する利益の一層大なるは勿論なれとも之と同時に米國稱餘の職人は臨時內國に其需要の增さゝる限りは忽ち其業を失ふを免れざる可し靴製造の一事既に然り其他文明の利器の種類は千種萬樣にして懸限りあらざるに皆な此の如く勞力者を驅逐するの場合とならゞ前途經濟社會の成行は如何なるべきや掛念に堪へず

（未完）

官報

○敍任

○明治廿一年三月七日

任檢事　非職元東京大學教授從五位　三嶋毅

敍奏任官三等　檢事從五位　三嶋毅

○明治廿一年三月九日

任陸軍歩兵少佐正六位勳四等　三卷弘義

任陸軍歩兵中佐　陸軍一等獸醫正七位勳六等　富尾木知一

任陸軍獸醫監　陸軍一等軍吏正七位　外松孫太郎

任陸軍監督補　陸軍一等軍吏正七位勳五等　嶋田恒榮

任陸軍監督補

○辭令

（各通）

博物館長　山高信離

農商務省會計局長　杉山榮藏

農商務省書記官　坂田春雄

農商務省商務局次長　佐野常樹

農商務省會計局次長　波多野行執

雜報

○北陸鐵道　北陸道の地たる前面一帶海に瀕し峻嶺險山相重なりて激流奔湍其間に迸出し舟船風濤きと憂へ山行雪深況を艱を運輸交通の不便一方ならざるが故に自然に物產の振興を妨ぐ今は日を追ふて衰弱に赴くのみなれば此景氣を挽回せんとするには北陸鐵道を驛馬して南敦賀の官線に連絡し以て四日市に至り東北は敦賀より金澤七尾を經て富山に達し異日越後直江津の線路ゑ連なりて東京に達するの基を開き斯くて一之西南馬關を迂廻して神戸に至るの勞を省き又は即時一直線に關東に通するの便を求めて以て物貨の融通を圖るれ外ゑる可らずと狹間正隆眞館貞造其他數氏が發起となり右鐵道驛殿を出願せん爲め此程上京せし由なるが其線路の長さは百四十哩にして一哩に付五萬圓と要するとすれば總計客五十萬四千圓百圓にして內一金として株數に算なれとも裏に先たち猶ゑ委しきゑる八日は筆て發起人諸氏の縣知事石黑關非等にも臨席したる

○札幌の氣候　々嚴しく零度以ゝかりもといふ樣くなゝ居るとなにては至極穩和

○橫濱政談演說　したる同會之節妨害ありと認めば其儘閉會をゝ於て其次會を

○歐米の市場　英國倫敦日本ゝは大に好評を八年より同廿年揚ゝ以て當業者

日本米の需用くの兆あり又雖も多年我日れが爲め販路の內にて尤も好き大粒の米等級を記す

ヨヤヴァ米

ベンガル上米

グーン并モ

バッセーン

右に付其價格品名

ヨヤヴァ

千八百八十五年上半季　千八百八十五年下半季　同八十六年上半季　同八十六年下半季　同八十七年上半季　同八十七年下半季　日本米の需用し但最高志

千八百八十八年上半季　千八百八十八年下半季　同八十九年上半季　同八十九年下半季　日本米の需用

價格は玄米一時と米賀とに

拙子義陳路著京和助方　丁子

邸宅賣却
麹町區富士見町五丁目十番地の宅地七百七十四坪庭園木石家屋共賣却仕候間御望の方は番地へ御來談可被下候　宇都宮　三郎　執事

●●●